

白根市国民健康保険のうつりかわり

このほど保険課は、白根市国民健康保険の受診率や、1人当りの給付費などの諸率をまとめました。それによりますと、昭和36年度では、1人当りの保険税は1,148円となつていますが、1人当りの給付費（市が病院に支払った額）は1,454円で昭和30年に比べると大巾に増えています。受診率も1.6倍に増加していますが、反

対に1件当り日数の減少していることは、皆さんが病気に對して早期発見につとめ、大事に至る前に早期治療をしていることがわかります。また医学の発展にともなつて、1件当りの治療費もだんだん増えてきていますが、さきに新聞に発表されたように、日本人の寿命が延びてきていることは喜ばしいことです。

| 区分 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | 33年度 | 34年度 | 35年度 | 36年度 | 説明 |
|-------------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 受診率 | 1.8回 | 2.4回 | 2.6回 | 2.5回 | 2.6回 | 2.7回 | 2.8回 | 被保険者が一人平均して、一年間に何回病気になるかそして医師の世話になったかの率（延件数を被保険者数で割った） |
| 一人当給付費 | 684円 | 930円 | 978円 | 1,020円 | 1,187円 | 1,287円 | 1,454円 | 一年間の医療費（市が病院に支払った金額）を被保険者数で割った金額 |
| 一人当国庫支出金 | 130円 | 232円 | 441円 | 321円 | 503円 | 571円 | 834円 | 医療費に対して国から来る補助金、負担金（事務費は除く）を被保険者数で割った |
| 一人当保険税 | 578円 | 619円 | 822円 | 858円 | 852円 | 882円 | 1,148円 | 現年度分保険税調定額を被保険者一人当りの金額 |
| 一世帯当保険税 | 3,675円 | 3,908円 | 5,113円 | 5,302円 | 5,249円 | 5,397円 | 6,788円 | 現年度分保険税調定額を世帯数で割った金額 |
| 保険税収納率 | 85.0% | 91.0% | 90.6% | 90.2% | 91.4% | 93.4% | 91.5% | 現年度分保険税収納率 |
| 一件当の医療費 | 384円 | 391円 | 373円 | 402円 | 424円 | 444円 | 496円 | 医師の門をた、くと、窓口へ支払って来る金額（入院も含む） |
| 一件当り日数 | 4.9日 | 4.8日 | 4.7日 | 4.7日 | 4.5日 | 4.4日 | 4.1日 | 一つの病気に何日かゝるか（入院も含む） |
| 国保会計決算差引収支額 | △ 4,607千円 | △ 16,842千円 | △ 10,736千円 | △ 9,184千円 | △ 6,512千円 | △ 4,233千円 | △ 4,274千円 | △印は赤字 |

農地所得資金の最高額は40万円まで

国は自立経営農家育成のため、農地所得資金の最高額を大巾に引き上げて、貸付を行つていきます。

融資の最高限度は、一人につき四〇万円（たとへば、二反歩の所得で反当所得価格二万円とすれば、 $2 \times 20 = 40$ 万円）まで貸付額四〇万円となる。まで

貸付は、希望される方は、農業委員会事務局まで申し出て下さい。

手続きとしては、売買を証する「農地法第三条による知事の許可証」をもつて申し込むことになりま。

なお、申請事務の整理上、過去一ケ年以内に許可をうけられ

軍人普通恩給の時効に注意

最近数回にわたつて、恩給法が改正になり、実役が下士官以下にあつては二年、准士官以上にあつては三年以下であつても、それぞれ加算を算入すれば年限に達するものは、恩給をもらはれることになっていきます。また加算のせいで、一年以上、二年以上、七年未満の在職年限が数回あつて、これを通過した場合二年もしくは一三年に達するものも、恩給をもらはれます。加算のない人で恩給年限に達する人の請求手続きは、本年九月三〇日までに行なひ

農委出張日割

九月は次のとおり、係員が出張します。農地の移動手続きや、農地問題について、ご相談に応じております。（農業委員会）

| 日 | 場所 |
|-----|--------|
| 11日 | 新飯田駐在室 |
| 12日 | 巻井林郷 |
| 13日 | 小大庄 |
| 14日 | 根茨 |

だより

今までは新たに購入した書名を市政だよりで紹介してきましたが、今回から新購入図書の中から二、三冊選んで、その本の内容等をお知らせすることにしました。

◎ジャンクル放浪記

▲アフリカの幽鬼と幻想
A・テューネオラ著
橋本福夫訳

原著者は、西アフリカのナイジェリア生まれの黒人作家でこの本はアフリカの民族に先祖から伝わっている民話を、作者が独自のやり方でアレンジしたものである。うめき叫ぶ「口をきく地面」、妊娠し

◎スタミナをつく本

小池五郎著

「スタミナ」というと、スポーツ選手のことを思い浮かべられるが、この本のいうのは、われわれの毎日の生活に必要なスタミナのことである。現代はスタミナのある人が勝利をおさめる時代で、仕事へのフアイト、受験勉強の粘りも、みなこのスタミナから生れる。このスタミナをつける秘訣は、日常われわれが考

◎ピールのすべて

植田敏郎著

今年には空前のビールブームといわれているが、日本人のほとんどが、いいビールと悪いビールを飲み分け方をおぼえていない。おいしいビールをいかに上にもおいしく飲むのにはどうしたらよいだろうか。この本はその秘訣を教えたものである。気軽にページを開き、どこから読んでも楽しめるように書かれている。挿絵、写真、統計なども豊富に入れ

◎古戦場

佐藤春夫監修

古戦場は、戦国争乱の世に武門の興亡をかけて死闘を繰りかえした戦国時代の英雄の夢の跡である。戦争は刀槍や鉄砲の争いではない。人間と人間の戦いである。合戦の主役を演じた人間行動を深く掘り下げなければ、戦争の意味も原因も理解し得ないであろう。そこでこの本は、信長から家康までの歴史の流れの中に、戦争以前の状況を追究して、戦争の真実をたずねてみようとするものである。写真、古地図、対陣図などを豊富に入れ理解をたずねている。（B6、四三三頁、四八〇円、人物往来社）